

# 病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	人工股関節置換術に対する術後鎮痛効果において、硬膜外持続鎮痛と単回腸骨筋膜下ブロック併用持続静脈内オピオイド鎮痛の比較（後ろ向きコホート研究）
当院の研究責任者 (所属)	垣花学（琉球大学病院大学院医学研究科麻酔科学講座）
他の研究機関および各機関の研究代表者	なし
本研究の目的	本研究の目的は、人工股関節置換術に対する術後鎮痛効果において、術翌日に硬膜外カテーテルを抜去された患者さまと、単回腸骨筋膜下ブロックと持続静脈内オピオイド鎮痛法による患者さまの術後疼痛管理、副作用、リハビリ経過などについて後方視的に比較することです。安全で安定した疼痛管理を提供することにつながる可能性があります。
研究実施期間	研究機関の長の許可日から 2026 年 11 月 30 日
調査データ(該当期間)	2025 年 1 月～2025 年 11 月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<p>●対象となる患者さま</p> <p>①2025 年 1 月 1 日から 2025 年 11 月 10 日までの間に当院で人工関節置換術（股関節）を施行した患者さま</p> <p>②全身麻酔に加え、術後鎮痛として硬膜外鎮痛が行われた患者もしくは単回腸骨筋膜下ブロックと持続静脈内オピオイド鎮痛が行われた患者さま</p> <p>③術後疼痛管理チームによる術後回診を受けた患者さま</p> <p>●利用する試料・情報</p> <p>カルテ情報：年齢・性別・身長・体重・BMI・疾患・術式・既往歴・内服薬・手術時間・麻酔時間・出血量・輸血量・輸液量・In-out balance・硬膜外穿刺記録（部位、カテーテル挿入長、局所麻酔薬の種類・使用量）・硬膜外鎮痛終了時間・神経ブロック施行記録（局所麻酔薬の種類・使用量）・持続静脈内フェンタニル鎮痛の記録（投与量・期間）・合併症・NRS（安静時・体動時）・追加鎮痛薬・離床時期・バイタルサイン（体温、血圧、脈拍数、SpO2）・PONV・リハビリの進行状況</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	なし
試料・情報の二次利用	なし

個人情報の取り扱い	<p>研究において対象者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化します。論文作成時、学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いません。また、同意の範囲外において情報の利用を行わない。</p> <p>◇本学での対応表の管理方法</p> <p>麻酔科講座垣花学が、麻酔科医局のインターネットに接続されていないパソコンで管理します。</p>
本研究の資金源 (利益相反)	<p>なし</p> <p>本研究は琉球大学利益相反審議部会の利益相反手続きに従い、必要事項を申告し、その審議と承認を得るものとします。</p>
お問い合わせ先	<p>電話：098-894-1408</p> <p>担当者：幾世橋美由紀（琉球大学麻酔科）</p>
備考	